

吹田東高校 46期生 2年生進路だより No.1

～学習方法を見直し、家庭での学習習慣を確立しよう～ 2020/04/7

☆ 休校中はどのように過ごしますか

・・・自分磨きにゆっくりするか努力するか

3月10日(火)にみなさんと会ってからはほぼ一か月たちました。4月8日に始業式を行う予定でしたが、それも無理になりました。世の中は、新型コロナウイルスとの闘いで、オリンピックが来年に延期され、感染者数や死亡者数が毎日発表されています。

さて、皆さんは自宅でどのように過ごしていますか。春休みの宿題は当然やっていますよね。でも暇を持って余していませんか。今日もまた朝ゆっくり起きて、することないなあ、無計画に生きてしまう。友だちと SNS でつながるだけで、毎日ただただ。一日の収穫は何もなし。これがまたストレスにもなる。

この状態はとても危険なことだと思いませんか。みなさんは、2年後には高校を卒業して、次の段階にステップアップしているはずなのですが、これは通常の高校生活を送っていたら話です。

大事なものは、自分の目標を再確認し、自分で計画を立てて、それをやりきること。授業がなくても自分で自分を管理すること。今がこの能力を養う絶好のチャンスです。この機会に、自分で考える本当の勉強をしてもらいたい。こんなにたっぷりの時間がある時こそ、たくさんの本も読んでもらいたい。さあ、みなさんはどちらを選びますか? 「いつもより努力する自分」? それとも「無計画にゆっくりする自分」?



OR



☆進路指導部から2年生の皆さんへ

2年生は「進路の具体化」が目標です。一言で「進学」と言っても、多くの学問分野があり、学部、学科があります。10月には3年次の選択科目を決めますが、そのためには自分の進みたい方向を具体化することが重要です。専門学校や就職を考えている人は、来年の今頃には志望先が決定してはいけません。しっかり自分自身を見つめて進路実現に向けた取り組みをしてください。

① 大学を選ぶ前に学部を選ぼう

1. 「大学で何を学びたいのか、学んだことを生かして将来何をしたいのか」を考える
2. 「学びたい分野」の決定
3. 「学びたい分野につながる学部・学科を探し、その学部・学科のある大学」を選ぶ

⇒3年の選択科目は、大学で学ぶ際に必要な科目、入試に必要な科目、専門学校で学ぶために必要なもの、社会人として身につけたい知識、自分の興味関心に即した科目を選択する

② 入試問題に挑戦してみよう

入試問題の多くは高校2年生までの範囲から出題されています。2年生で解ける入試問題があり、まさに今授業で学んでいる内容が出ています。今解ける問題の解法を定着させ、今解けない問題を今後どう理解していくかを考える良い機会です。

1. 各大学別の過去の入試問題集 通称「赤本」⇒志望校の問題傾向がわかる
2. 大学が出す前年度の入試問題集＝模範解答を作問者や予備校が行っている
3. 大学入試対応の問題集＝過去問は3年になって集中的に解きたい場合
4. 公務員試験問題集 就職用問題集を解いてみる

③ 模擬試験を積極的に受験しよう

校内ではスタディーサポートが行われます。また2月には初めての校内模擬試験が行われます。それ以外にも予備校等の行う外部会場での模擬試験を受験しましょう。会場の雰囲気や解答の時間配分など、本番の入試を疑似体験することができます。全国模試・看護模試・公務員模試・就職セミナーなど、外部の情報を得ることも有効です。

④ オープンキャンパスに行こう

春のオープンキャンパスはコロナウィルスの影響で中止や延期になっていますが、夏休みや冬休みを利用して必ず参加してください。入学後のミスマッチを防ぐためにも、賑やかで楽しいだけでなく、具体的なカリキュラムや費用など、分からないことがなくなるまで学校に聞いてください。また、イベント以外の日常の大学を訪れると、その大学の「素顔」を見ることができます。また各校のホームページも年々見やすく充実していますので、行けない場合でもWEB上の情報を入手するようにしましょう。

⑤ 志望校選びのポイント

近年、大学の志望理由を聞くと「就職率がよい」「家から通える」と答える高校生が多く、学部志望についても「就職に有利だから」という理由で実学といわれる学部に人気が集中しています。また、大学を選ぶ際も「『関関同立・産近甲龍』に合格できたら学部学科はなんでもいい。」という答えをよく聞きます。しかし最近の大学生の就職状況を見てみると、有名大学を卒業したからといって就職できるかというところが限りません。

大切なことは就職率やブランドだけではなく、大学生活で「何を学び、何を得て、何ができ、何がしたいのか」ということをしっかりと考えて、志望校を選ぶことです。